



芝山小だより

9月増刊号

清瀬市立芝山小学校

校長 佐藤 強

<http://www.kiyose.ed.jp/>

3年生 夏休みの楽しかった思い出を俳句にしました。

海はねえ さらにさらくるよ すながすき
 アサガオが さきほこる家 にぎやかだ
 朝顔の 顔を見るため 早おきだ
 セミの声 クーラーさえも 顔負けだ
 アイスはね たいようあびて とけちゃうよ
 花火はね パチパチなって パラダイス
 花火はね えがおの花が さきほこる
 虫たちが がつきをもって えんそうだ
 夏休み おでかけいっぱい つかれたよ
 「あつついなー」セミも言ってる ミンミンと
 夏にね かき氷をね 食べたいな
 夏休み 海だ花火だ たのしいな
 夏休み ぼくじよう行った ちちしぼり
 夏休み プールでこんがり こむぎ色
 花火はね 見てもやっても たのしいな
 スイカわり ぱっかんわれて おいしいな
 すいかわり くるりとまわって 目がまわる
 ミーンミ セミがいつぱい 鳴いている
 ひまわりと おしゃべりしたい いっぱいね
 二かいから 小さな花火 なりひびく
 夏休み きいごのしゆくだい このはいく
 かき氷 どれにしようか まよっちゃう
 まなつの日 あつくなるほど セミがなく
 たいようが わらっていうよ あつийよと
 ベランダで 毎年プール わたし時間

児童の活躍から

◇ 第13回 清瀬市小中学生水泳記録会

8月23日(土) 下宿市民プールで開催されました。本校からは7名の参加がありました。その中で小学3年生男子50メートルバタフライで、38秒65という新記録を出しました。おめでとうございます。

<児童の作品から>

○「学校が始まって一番嬉しかったことを書きましょう」という4年生の取組みがありました。なんとといっても校庭のことを書いた児童がたくさんいました。同じ芝生であっても様々な思いがあるんですね。

・今日学校が始まって一番うれしかったことは、校庭が芝生になっていたことです。砂だと転んだ時にいたいし、砂ぼこりがあるからです。芝生だと転んだ時にいたくないし砂ぼこりがないからです。十月に遊べるまで待ちきれないくらい楽しみです。早く遊びたいです。

・ぼくは、体育館に行く途中の廊下で鳥を見かけました。ぼくは、最近鳥のことが好きだから体育館に入るまでずっと見ていました。そして、体育館の中では「あの鳥はなんの種類なんだ。」とかいろいろ考えていました。家に帰って調べると、ハクセキレイという鳥でした。鳥が来てくれたのも芝生のおかげです。だからぼくは、芝生をこれから育てていきたいです。

・うれしかったことは、芝生のことです。学校の門に入ったら芝生がいっぱい生えていました。早く芝生でサッカーをしたいです。あと、新しいうんていやジャングルジムがありました。早くのぼったりして遊びたいです。芝生にも寝ころびたいです。

あつ日は やまもりすぎる かき氷
すなはなでか にとわたしで かくれんぼ
こん虫も あつくてみんな 夏休み
夏休み セミの声でね 目がさめる
なつにはね すいかをたべて あーすずし
あじさいは かがやく星の お花です

夏休みの自由研究



どの教室にも、すてきな作品が集まりました。調べ学習や工作など、自分一人でやりきった作品やおうちの方とふれあいを大事にしながら作り上げた作品など取組みかたは、様々です。2年生の作品を紹介します。

